

トラブルのない 正しい接着剤・粘着剤の使い方

～基礎から学び、実務に役立つ～

日時 2024年8月21日(水) 10:00～17:00
(9:30 受付開始)

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 46,200円(資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

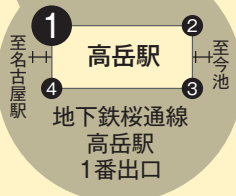
日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



【アクセス】

名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗り、4つ目「高岳」下車。1番出口より徒歩3分。

※会場には受講者用の駐車場がありません。
必ず最寄りの公共交通機関でこ来場ください。



受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。ご了承ください。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG
TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講 申込書

8/21 接着剤・粘着剤

お申し込みは

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【連絡先】日刊工業新聞社 dbopr03@nikkan.tech

郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.247555

開催主旨

接着剤は自動車、電気・電子など幅広い産業において多くの製品に用いられていますが、他の接合法と異なり品質のばらつきが大きいという欠点があります。接着の品質は被着体の特性にマッチした接着剤の選定や取扱いに大きく左右されます。また、接着剤と被着体との界面には外力や環境変化によって様々な応力が発生し、それが界面剥離や凝着破壊など接着の信頼性に大きな影響を与えます。良い接着とはこれらの要素を十分に考慮し、接着剤の正しい選定や被着体の表面処理など正しい取り扱いをする必要があります。

しかし、接着剤は日常的に気楽に使っているために、業務においてもとかく理屈ではなく、経験に基づいて使用しているのが実状です。高品質な接着を行うためには、接着原理すなわち、被着体と被着体との界面現象や、硬化した接着剤の機械的特性などを十分に理解することが大切です。

講師

株式会社ワールドテック 講師
テクノサポートオーテス代表

岡本 邦夫 氏

【略歴】 1973年 デンソー入社（日本自動車部品総合研究所へ配属）排ガス浄化用モノリス担体の開発、活性炭素繊維の基礎研究に従事。
1985年 フィルター技術開発へ配属。活性炭素繊維とその応用製品の開発に従事。（A/P用脱臭フィルター、浄水器、香りコントロール）空気清浄フィルターの開発・設計に従事。
1997年 開発部へ配属（特定開発室室長）燃料電池システム・部品の企画・開発と全社総括に従事。
2005年 デンソーテクノ出向・転籍（人材育成担当部長）技術者育成に従事。
退職後、経験を活かし研修講師として活躍中。

【実績】
1995年 自動車技術会で発表『車室内空気の清浄化技術（脱臭性能の定量化とその応用）』
1996年 SAE国際会議で同上テーマにて共同発表
2003年 自動車技術会（燃料電池セッション）で座長を務める。

プログラム

1) 接着技術の概要

- 1.1 各種接着法
- 1.2 接着・粘着とは
- 1.3 接着機能の分類
- 1.4 用途

2) 接着技術の基礎

- 2.1 接着強度を理解するポイント
- 2.2 接着のメカニズム
- 2.3 接着の理論
- 2.4 接着とはく離
- 2.5 高分子材料の性状

3) 粘着技術の基礎

- 3.1 接着と粘着の違い
- 3.2 粘着のメカニズム
- 3.3 粘着の評価項目と評価法
- 3.4 粘着テープの形態
- 3.5 粘着剤の設計
- 3.6 粘着特性
- 3.7 各種粘着剤の特徴と物性
- 3.8 粘着テープ取り扱い上の注意点

4) 接着剤を活用した設計と取扱いの留意点

- 4.1 接着の機能
- 4.2 接着設計の基本（特徴、接着作業とトラブル発生要因、接着剤の選び方、接合部の設計、使用環境、表面処理、接着作業の注意点）
- 4.3 封止（シーリング）
- 4.4 接着剤選定の留意点

5) 粘着剤を活用した設計と取扱いの留意点（接着剤との相違点を中心）

- 5.1 粘着テープの形態
- 5.2 粘着剤の設計
- 5.3 粘着特性
- 5.4 各種粘着剤の特徴と特性
- 5.5 粘着テープ取り扱い上の注意点

6) 接着剤各論

- 6.1 接着剤と粘着剤の分類
- 6.2 各種接着剤の概要（エポキシ系、光硬化系、アクリル系、ゴム系、導電性、伝熱性）

7) 接着剤のトラブルと対策

- 7.1 接着接合の問題点
- 7.2 接着トラブルの発生要因
- 7.3 粘着剤の選定ミスによるトラブル
- 7.4 接着剤の変質と劣化によるトラブル
- 7.5 接着剤の硬化不良によるトラブル
- 7.6 被着体の表面処理に起因するトラブル